59人が難関を突破

司法試験、公認会計士試験の2008年度合格者祝賀会

難関の国家試験である司法試験、新司法試験、公認会計士試験の2008年度合格者祝賀会が12月15日、神田キャンパスで開かれた。日高義博理事長・学長はじめゼミの指導教授ら約70人が出席し、合格者たちを祝福した。

今年度の合格者は、司法試験2人、新司法試験20人、公認会計士試験37人（うち在学生7人）のあわせて59人。

日高理事長・学長は「合格者の数ではなく皆さんが社会に出てからの活躍が大学の評価となります。さらに上の目標に向かってこれからも頑張っていただきたい」と激励。合格者を代表して公認会計士試験合格者の阿部裕泰さん（商3）が、「エクステンションセンターの会計士講座に入り、目標を見つけ、多くの方々との出会いや支えがあって合格ができました。今後はさらに精進を重ね、微力ながら講座の後輩たちの学習にも力を貸していきたいと思っています。目標を与えてくれた大学に感謝しています」とあいさつした。

◇

＊「ニュース専修」12月号掲載以降に判明した公認会計士試験合格者は次のとおり。

▽小宮山武志さん（平17経済）▽中島幹雄さん（平15商）▽谷北知巳さん（平14商）▽安村彰人さん（平13商）▽加藤清司さん（平13商）▽林誠一郎さん（平12商）▽柳原明さん（平11経済）▽山下大輔さん（平11経済中退）▽西原健太郎さん（平8商）

菱山教授の「財務会計論」受講がきっかけ

公認会計士試験現役合格の

酒井　真也さん（二部商4）の話

一部文学部から二部商学部に転部。そこで面白さを知り、公認会計士になることを決意しました。

受験勉強は、簿記も分からないゼロの状態から始め、授業の前に2年半にわたって専門学校に通いました。自宅の登戸（神奈川県）から神田への通学時間にも参考書やノートを開き、没頭しました。

やりたいことが見いだせずにいた時は留年や休学もしましたが、目標をみつけ、達成する喜びを知りました。菱山先生と支えてくれた両親に心から感謝しています。

菱山淳教授の「財務会計論」を受講、会計の

言語文化センター 第4回国際公開講座を開催

▲ 講演するファン教授 円内は平田教授

「Anglo-Saxon 語の継承と変容」プロジェクト（社会知性開発研究センター／言語・文化研究センター＝松下知紀代表、オープン・リサーチ・センター整備事業）は、本年度の第4回国際公開講座を12月20、21の両日、神田キャンパスで講師に米国ハーバード大学のC.T. James Huang（ジェームズ・ファン）教授を迎えて開催した。

講演はすべて英語で行われ、研究者など両日で160人が聴講。活発な質疑が行われた。

チョムスキーの生成文法理論に基づく言語理論展開で主導的役割を果たしてきたファン教授は、英語と東アジア言語の比較研究において、言語現象の背後にある普遍原理とパラメター的違いを明らかにした。

初日には本学の平田一郎教授が「The EPP effects under TP（TP投射の内側で現れるEPP効果について）」と題して講演した。

なお、オランダの学術出版社 John Benjamins から『*Germanic Languages and Linguistic Universals*』が3月に出版される。編さん者は、本学の松下知紀教授と長谷川宏教授、オスロ大学のJ.O. Askedal（アスケダル）教授、英国ケンブリッジ大学のIan Roberts（ロバーツ）教授ら4人で、いずれも本プロジェクトに携わる言語・文化研究センターのメンバー。

みんなのオリンピック ボクらの街にオリンピックがやってくる！

生田キャンパスで開催

▲ 右からレース車の説明をする廣道氏と鈴木氏、山本氏

特定非営利活動法人・東京オリンピック招致委員会ほかが主催し、全国各地で開催している「TOKYO2016フォーラム『みんなのオリンピック』～ボクらの街にオリンピックがやってくる！～」が、12月19日、生田キャンパスで開催された（協力＝社会体育研究所）。

雑賀真・東京オリンピック・パラリンピック招致委員会事務局次長のあいさつに続き、山本昌邦氏（サッカー・シドニー大会男子代表コーチ、アテネ大会男子代表）の3氏が登場。指導者、選手、障がい者スポーツ選手として、オリンピックが社会に与える素晴らしさをそれぞれの立場から説いた。廣道氏はレースで使用している車の解説も兼ね、障がい者に勇気と希望を与えるパラリンピックの意義を力説し、障がい者スポーツへの理解を求めた。

多くの学生や市民が詰めかけ、体育会所属学生から鈴木氏に、スランプ脱出法などについて積極的な質問が出され、パネリストとフロアとが一体となった交流の場となった。

監督）、鈴木大地氏（競泳・ソウル大会金メダリスト）、廣道純氏（パラリンピック陸上・シドニー大会銀メダリスト、アテネ大会銅メダリスト、北京大会代表）の3氏が登場。指導者、選手、障がい者スポーツ選手として、オリンピックが社会に与える素晴らしさをそれぞれの立場から説いた。廣道氏はレースで使用している車の解説も兼ね、障がい者に勇気と希望を与えるパラリンピックの意義を力説し、障がい者スポーツへの理解を求めた。

多くの学生や市民が詰めかけ、体育会所属学生から鈴木氏に、スランプ脱出法などについて積極的な質問が出され、パネリストとフロアとが一体となった交流の場となった。

学位取得

広瀬裕子法学部教授＝写真＝が、08年7月9日付で東京大学から博士（教育学）の学位を授与された。学位論文名は、「イギリスにおける性教育の義務必修化に関する研究―セクシュアリティに関心を持つ近代国家の政策の一展開―」。

訃報

渡部　光氏（わたべ・ひかる）法学部教授、学校法人専修大学評議員。

12月21日、敗血症のため死去。63歳。告別式は同26日、小田原市のカルチャーBONDS小田原で執り行われた。喪主は妻孝子さん。

1984年法学部助教授、87年教授。2004年9月学校法人専修大学評議員。主な担当は教育原論。

藤塚　武雄氏（ふじつか・たけお）元文学部教授

12月27日、死去。93歳。1966年から在職し、85年3月定年退職。

世界同時不況に伴う学生の経済支援について

米国のサブプライム・ローン問題に端を発した、世界的な金融危機は日本経済に大きな影響を与え、生産調整や雇用調整などにより家計に深刻な影響をもたらしております。

本学では、専修大学家計急変奨学生及び日本学生支援機構奨学金の緊急・応急採用奨学生について、できるだけ支援を行ってまいりますので、今般の金融危機により被害を受けた方及び今後この被害を受ける可能性のある方等に該当すると思われる学生は、各担当窓口にご相談ください。

セクシュアル・ハラスメント防止委員会から

己の欲せざるところを人に施すことなかれ

私が大学院を出て企業の入社試験を受けた時の話ですから、もうだいぶ前のことです。履歴書を見た面接者に「普通の女性なら結婚して会社を辞める歳なのに、君はこれから入社したいということか」と問われ、返す言葉に困った経験があります。当時は、仕事ができるよりも、飲み会で男性社員のお酌をするのもいとわないような「職場の花」として女性の価値が重視された時代でした。

時代の移り替わりによって社会の「ものさし」が大きく変わり、今日では、こうした考え方は典型的なセクシュアルハラスメントに当たります。このような社会規範の変化に応じて、自分自身のもっている「ものさし」も新しいものに取り換えていかなければいけません。しかし、無意識のうちに、ふと古い感覚で社会の出来事を見ている自分を自覚する時、慣れ親しんだ「ものさし」を新しいものにしていくことの難しさを感じます。

セクシュアルハラスメントに対する考え方については、同性同士でも年齢差による違いがあり、まして異性間の違いには潜在的でなかなか解消されない性質のものもあります。地域・国によっても違うでしょう。セクシュアルハラスメントの被害者は特に若い女性に多いわけですから、古い「ものさし」を携えて年齢を重ねてきた人と男性には、特に自覚していただき、「加害者」とならないように現代社会のルールにあわせて行動する必要があります。基本的には、孔子の言う〝己の欲せざるところを人に施すことなかれ〟を意識して実践するということになるのでしょう。

（吉田　享子）

専修人の新しい本

「失われた十五年」と金融政策

田中　隆之著

バブル崩壊後、日本経済は「失われた十五年」とも呼ばれる未曾有の長期不況に陥った。本書は、この間行われた量的緩和政策の効果や、さらなる緩和策としてのインフレ目標をめぐる論争を、振り返って整理し、それらの成果と意義を問い直そうとする刺激的な解説書である。

アメリカのサブプライム問題に端を発した世界金融危機は、金融政策のあり方に改めていくつかの問題を提起している。金融危機の発生、さらにバブルの発生を防止するために、金融政策はどのような役割を担うべきなのだろうか。本書は、こうした疑問や、将来の政策のあり方に対しても、日本の経験から貴重な示唆を与えている。（日本経済新聞出版社・本体2400円＋税）

著者（たなか　たかゆき）＝経済学部教授。主な担当は財政金融政策。

書籍『蒼翼の獅子たち』全国学校図書館協議会選定図書に

専修大学育友会（日南川裕一会長）が、創立50周年記念事業の一環として、昨年10月に刊行した青春歴史小説『蒼翼の獅子たち』（著者：直木賞作家・志茂田景樹氏）が、学校図書館向けの良書として学校図書館ブッククラブより、「全国学校図書館協議会選定図書」に選ばれた。これは、図書館の蔵書構成の観点を重視し、小・中・高等学校それぞれの教育課程において適切で、バランスのとれた図書として選定されるもの。

自然科学研究所

「生田緑地の草本植物」が冊子に 希望者には頒布も

自然科学研究所のサイトに掲載している「生田緑地の植物アルバム（草本植物）」が、自然科学研究所報第88号の別冊として冊子になった。吉江文男経済学部教授が撮影した、生田キャンパスと隣接する生田緑地でよく目にするおよそ240種の野生・植栽の草本植物が網羅されている。

一般の方で頒布を希望される場合は自然科学研究所ホームページ上に掲載されているフォームに必要事項を記入の上、自然科学研究所（FAX044・911・7254）まで、お申し込みください（先着50人まで）。学生の希望者は、自然科学研究所（生田キャンパス2号館地下1階）へ。